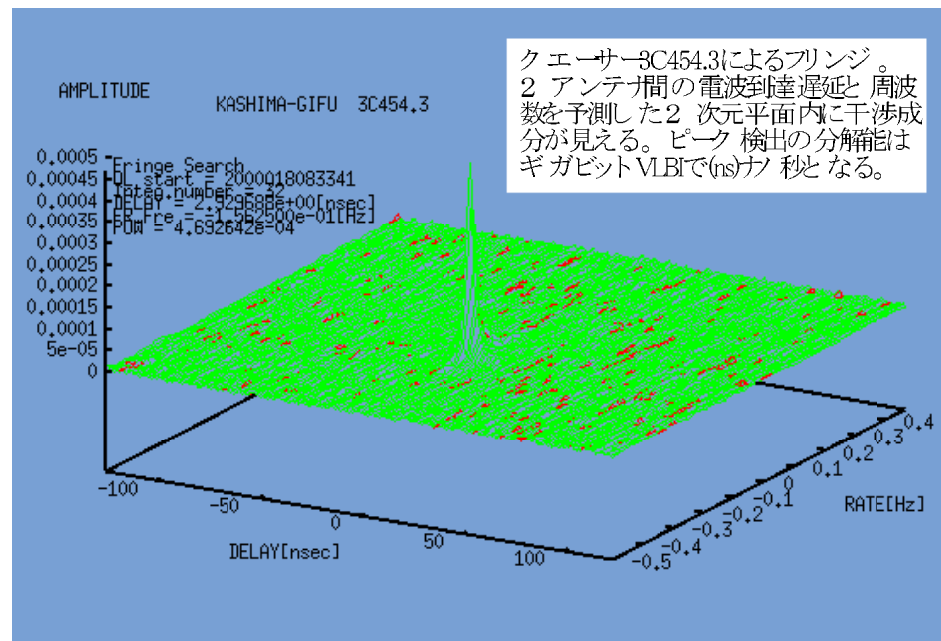
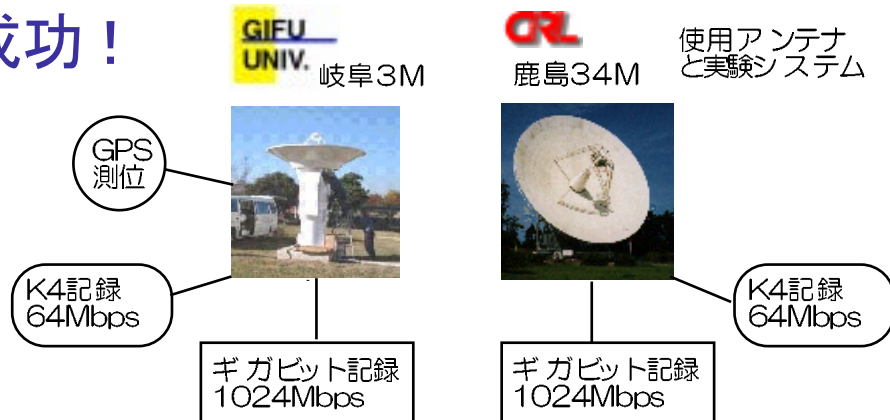


岐阜大学 3 mパラボラでの初観測が成功！

ギガビットVLBI装置を使えば帯域アップで感度向上、対等に観測できるようになる。”小さなパラボラで大きなブレイクスルー”を目指したGIFT(Gifu Telescope)プロジェクトの第一回観測が成功しました。

岐阜大学においては1月11日VLBI機器を搬入、13日にフリッジテスト、18～19日に24時間VLBI観測を行いました。機器の再調整などのハプニングもありましたが、鹿島34mアンテナとの間で観測成功が確認されました。

今回の観測は岐阜大高羽先生、若松先生、吉田先生による完全な3mアンテナ立ち上げにより早期に行うことが出来ました。またCRL内VLBIの総合力として、既存のK4観測装置の併行観測、GPS測位などの技術が投入され成功へ導かれました。今後我々は今回のデータを用い、世界初となるギガビット24時間測地解析を開始する予定です。(JN 記)



★ VLBIコラム ★

電波望遠鏡間のフリッジ(干渉縞)とは？

望遠鏡間の基線ベクトルに対する星の電波の干渉成分。このフリッジ情報から星の構造、またはアンテナの位置関係などの科学的データを引き出すことができます。

今回の観測成功の意義は？

- 1) 3 m電波望遠鏡は単独で使える星が少なく軸校正が難しいが、設置後短期間に立ち上げに成功した(岐阜大学分担)
- 2) ギガビットVLBIでは最長基線でのフリッジであり、また機器が長時間の観測に耐えた(実用化観測の開始)
- 3) 3 mクラスの電波望遠鏡で測地解析データに資するSN比で天体が受信されている